

研究機関：広島大学

研究課題名	急性細菌性前立腺炎および急性精巣上体炎の治療状況調査と分離菌の薬剤感受性調査：後ろ向き多施設共同研究
研究責任者名	広島大学大学院医歯薬保健学研究科腎泌尿器科学 教授 松原 昭郎
研究期間	2018年7月18日(倫理委員会承認後)～2021年2月
対象者	2017年1月から2017年12月の間に、広島大学病院泌尿器科で急性細菌性前立腺炎または急性精巣上体炎と診断され治療が行われた患者。
意義・目的	泌尿器科領域の感染症の中でも特に男性の性器感染症として、急性細菌性前立腺炎と急性精巣上体炎があります。それぞれ軽症例、重症例、再発を繰り返す症例など様々であり、それぞれの病態に応じて治療法も異なります。急性細菌性前立腺炎および急性精巣上体炎に関しては、本邦ではまとまった報告がなされていません。また近年、薬剤耐性菌の出現により、適切な抗菌薬・治療法の選択がより重要となってきています。今回、急性細菌性前立腺炎および急性精巣上体炎に対して、日本の各施設で行われているさまざまな治療内容と、分離菌の薬剤感受性を、後ろ向き多施設共同研究によって明らかにし、耐性菌の分離・分布状況の把握と、さらなる抗菌薬の適正使用を進めること、そして重症化する症例、再発する症例などの原因を解明し、感染症治療戦略に役立てることを目的としています。
方法	2017年1月から2017年12月までに広島大学病院泌尿器科において、急性細菌性前立腺炎または急性精巣上体炎と診断され治療が行われた患者さんの診療記録(カルテ)を基に集計します。年齢、既往歴、現病歴、細菌学的検査所見を含む各種検査所見、治療法とその効果、治療後の経過等を調べます。個人を特定可能な情報は解析に用いません。研究のために、新たな診察や検査、治療などを受けて頂く事はありません。
共同研究機関	産業医科大学をはじめとするUTI共同研究会参加施設。 主施設である産業医科大学(研究責任者 松本 正広)に情報を集め解析します。
試料・情報の管理責任者	産業医科大学医学部泌尿器科 教授 藤本 直浩
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 T e l : 082-257-5242 広島大学病院感染症科 診療講師 北野 弘之